

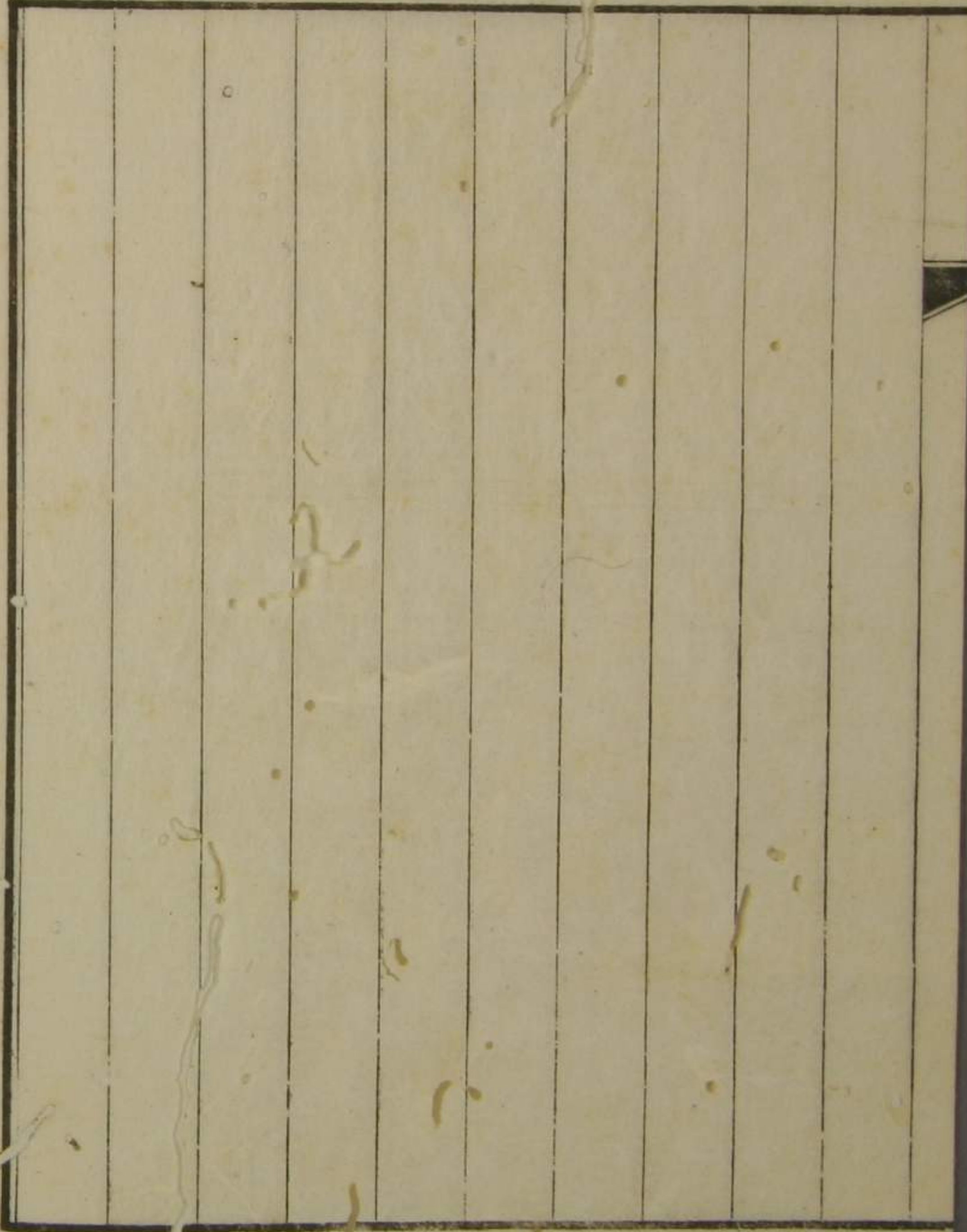




無名會社ノ事

會社惣名或加入人ノ名ヲ以テ別段  
 ニ稱セサル會社ハ無名會社ト云フ  
 略言スル時ハ右會社ハ人ノ會社ニ  
 非ス諸金高ノ會社ナリ  
 無名會社ノ元金ハ多サノ手形ニ分  
 レ何人ニテモ数手形タケ金ヲ差出  
 レ以テ右ノ手形ノ所有人トナル即  
 無名會社ノ加入人トナル事ナリ喻  
 ハハ鐵道ヲ開ク爲メニ五百万兩ノ

天正十一年四月  
大隈侯邸寄贈





元金ヲ以テ無名會社ヲ取建テ且右  
元金ヲ五百兩ツ、ノ手形一万枚ニ  
分テ其手形ノ内一枚或數枚々ケノ  
金子ヲ差出ス者ハ其金高々ケ加入  
スルノナリ手形ノ所有人ハ變スル  
トモ手形ノ數及金高即會社ノ元金  
ハ決シテ變セス

右會社ノ委細ノ事ハ尤ニ記ス可シ  
無名會社取結ノ事

無名會社ヲ結ハント欲スル者ハ其

住スル所ノ州ノ知事ハ右ノ趣ヲ以  
テ願書ヲ出ス可シ但巴理府ニ住ス  
ル者ナレハ右ノ願書ヲ京師ノ取締  
知事へ差出ス可シ尤右會社ニ於テ  
發益セント欲スル事物ハ其支配  
坐所外ノ地ニアル節ハ此ノ願書ヲ  
其地ノ知事へモ申達セサルヲ得ス  
右願書へ會社取結ノ公書ヲ差加へ  
サルヲ得ス但右公書ノ中ニハ加入  
入元金ヲ差出ス可キノ約束書及會



社ヲ管ス可キ條約ヲ入レサルヲ得  
 州知事及京師取締知事ハ已ノ落掌  
 セシ願書別紙共耕作貿易工部卿へ  
 傳達シ其節左ノ件々ニ付委細取調  
 ノ上已ノ存意ヲ申加ヘサルヲ得  
 但會社ノ目途ノ利害及功ノ成否  
 且一般ノ交易ノ利害ニ付テ其都  
 合不都合ノ事  
 會社ノ元金差出人ノ行跡ノ正不

金祐堂

正及其貧富且會社ノ仕事ヲ支配  
 スル人ニ付テモ同様事  
 無名會社ノ目的ノ事  
 會社ノ目的タル事物ハ國法規則在  
 道ニ反スルヲ得ス且眞實ナラサル  
 ヲ得ス即會社ハ官許ヲ受ケシ時ヨ  
 リ勝手ニ用ユルヲ得ベキ實ノ元金  
 ヲ有セサルヲ得サル事  
 會社見込ノ事物ハ一ヤラセハ  
 見込ノ數物件ノ間ニ關係ノ理故ア



ラサ兀ヲ得ス

會社ノ條約面ニ決定シタル目途ノ  
物事ニ非ラサル仕事ハ之ヲ禁ス尤  
會社ノ本業ニ裨益ス可キノミノ他  
ノ格段ナル工業ナレハ會社ニ於テ  
右ノ工業ヲ勝手ニ發益スルヲ許ス

無名會社ノ元金

無名會社ヲ取結フ節ハ中間外ノ佗  
人ニ對シテ引當トナル物ハ右會社  
ノ元金ノミナルニ付政府へ願書ヲ

金花堂

出サバ兀内右元金ノ全高タケ金ヲ  
差出ス可キ約書ヲ富者ニ於テ記サ  
バ兀ヲ得ス且官許ヲ賜フ前ニ右元  
金ノ全高ノ五分一程ヲ差出サ、兀  
ヲ得ス

無名會社ノ元金ハ多少ノ手形ニ分  
ル此手形ハ各加入人ノ爲メニハ其  
加入ノ證書ナリ即既ニ差出セシ金  
高ノ利息ヲ受クル爲メ或會社解散  
スル時ハ元差出セシ金子ノ返却ヲ



得ル爲メ其権理ヲ證スルニ此手形  
ヲ用ユ手形ノ類ニツアリ即持人ニ  
拂フ可キ手形及指名手形但持人へ  
拂フ可キ手形トハ人ニ拘ラス手形  
ヲ携へル人ニ拂フ可キ手形ナリ指  
各手形ハ其姓名ヲ記載シアル人  
ノミ拂フ手形ナリ指名手形ハ會社  
ノ簿冊へ書載セテ以テ之ヲ實證ス  
持人へ拂フ可キノ手形ハ其全高差  
出シ瀆ノ上ニ於テノミ之ヲ渡ス如

金花堂

何トナレハ右手形ノ所有人知レサ  
ルニ付未タ拂瀆ニナラサル金高ノ  
残り分ヲ拂ハセ難キ故ナリ  
但鉄道無名會社ハ持人へ拂フ可  
キ手形ノ半金高差出瀆ノ上ハ政  
府ニ於テ常々右手形ヲ渡スヲ免  
許ス  
手形ノ金高ノ制限ニ附テハ定則ナ  
シト雖モ政府ニ於テ右高ハ過少ナ  
ラサルヲ善トス其故ハ即手形ノ高



過少ナレハ人民容易ニ之ヲ買ヒ入  
シ追々欲心ヲ増長シ且會社ニ於テ  
衆人ヲ欺キ易キヲ以テナリ常々發  
行スル各手形ノ高ハ五百フランク  
ナリ但九十

無名會社ノ掌管ノ事

無名會社ハ掌管公會之ヲ掌管ス又  
右掌管公會ハ已ノ組人ノ中ヨリ支  
配惣代或支配人一人ヲ撰擧シ已ノ  
權ノ全部或一部ヲ之ニ托任スルヲ

金花堂

得ルナリ

掌管公會ノ組人ハ加入人ノ名代十  
凡ノミニテ其委任サレタル事ニ付  
テノミ責ニ任ス  
掌管公會ノ組人ヲ任職免職スルノ  
決定ハ加入人ノ惣集會之ヲ爲ス  
無名會社ノ加入人大勢ナリニ依リ  
惣加入人右惣集會へ出議スル能ハ  
ス故ニ常々右惣集會ニ出席スル爲  
メニ加入人ニ於テ有セサルヲ得サ



凡手形ノ最下数ヲ定ムル事ナリ右  
手形ノ最下数已上ヲ有スル加入人  
ノ出議スルヲ得ルナリ

會社ノ條約ニ隨ツテ三月毎或年々  
掌管公會ハ會社ノ出入金高ヲ取建  
テ惣勘定ヲ仕切り右勘定ヲ加入人  
ノ惣集會ニ進メ加入人之ヲ抗許ス  
入額ヨリ諸雜費差引キテ残高ハ即  
會社ノ清淨ノ利得ナリ右ハ手形ノ  
数ニ依テ諸加入人ノ間ニ分配ス即

金花堂

各加入人ハ已ノ有スル手形ノ数ニ  
依テ右利得ノ分ヲ受ク尤會社ノ元  
金ヲ減セシメル不圖ノ場合ニ豫備  
スル爲メ右ノ清淨ノ利得ヨリ多少  
ノ金高ヲ差引キ之ヲ用意金トシテ  
保藏ス右用意金ノ高ハ會社ノ所業  
ノ性質輕重及利得ノ多少ニ準セサ  
ルヲ得ス  
常々ハ會社ノ條約面ニ於テ右用意  
金ノ最上高ヲ定ムル事ナリ用意金



数最上高ニ當ル節ハ最早何モ差引  
カス  
元未加入人ヨリ差出セシ金数ノ利  
息ヲ與ヘントシテ會社ノ元金へハ  
決シテ手ヲ附ケテ金ヲ引取ル可カ  
ラス萬一何ノ所業ニ付テ會社ノ元  
金へ手ヲ附ケシ時ハ之ヲ元金へ戻  
ス爲メ諸利得ヲ供用ス可シ  
何ノ場合ニ於テモ會社元金十分十  
ラサル時ハ決シテ加入人へ利得ヲ

金花堂

分配セス

無名會社結立ノ期限解散  
及清算ノ事

一体無名會社結立ノ期限ハ其會社  
結立條約ニ定マレル事ニシテ右ハ  
常々三十年ニ限り尤政府州及邑ヨ  
リ免許サレタル仕業ヲ發益スル爲  
メ取結ヒシ會社ノ結立ノ期限ノ短  
長ハ右免許ノ期限ト同シ  
前以テ定メタル場合ニ於テ喻へハ



會社元金ノ内多少ノ金減スル時ニ  
於テ未タ元定メシ結立期限ニ達セ  
スト雖凡加入人惣會議ニ於テ會社  
ノ解散ヲ定メルノ権理アル可シト  
常々會社結立條約面ニ書載ルナリ  
且會社ハ其元金高ノ内何程減スル  
時ハ必ス解散ス可キトノ事ヲ政府  
ニ於テ會社ヲシテ其條約中ニ書載  
セシム

會社結立期限相過クル歟或右期限

ノ前解社スル時ハ加入人ノ惣集會  
ニテ清算ノ仕方ヲ定メ且清算所業ヲ取扱可  
キ者ヲ任職ス清算ス可キ者ノ任職  
ヲ以テ會社ノ諸掌管人ノ威權ハ自  
然ニ廢止スル事ナリ會社ノ諸勘定  
ノ清決ハ會社ノ所業ヨリ生シテ殘  
リシ利得ヲ各加入人ハ其有スル手  
形ノ數ニ隨ヒ分配スル事ヲ以テ之  
ヲ爲ス

會社ノ所業ニ附テ加入人ノ間ノ許



訟ハ貿易法ニ隨ツテ中人ヲ立テ之  
ヲ裁判ス  
政府ハ既ニ與ヘシ會社取結ノ免狀  
ヲ場合ニ依リテハ取戻スノ権理アリ  
リ喻ハ會社結立條約ヲ破背スル時  
ハ政府ニ於テ元ノ免狀ヲ引戻ス十  
リ  
會社取締官許ノ布告ヲ法書公新聞  
紙及會社ノ本座所ノ州ノ裁判布告  
新聞紙中ニ於テ刊行ス可シ

又右ノ地ノ交易裁判所ノ書記局ニ  
於テハ會社結立條約ト共ニ之ヲ簿  
記ス可シ

無名會社ニ關スル交易  
法律ノ事

無名會社ノ取結ヲ管スル法度ハ尤  
ノ如シ

第一 無名會社ハ會社惣名或加入  
人ノ中何人ノ姓名ヲ以テ稱  
スルヲ得ス



第二 右會社ハ其目途ノ的トスル  
 事物ノ名称ヲ以テ之ヲ形状  
 スル事ナリ  
 第三 右會社ハ各代人<sup>加入者</sup>之ヲ掌管ス  
 此各代人ハ一時ノ委任ヲ受  
 ケシ者ニテ免職セラレ得ク  
 且社中ニ入り或入ラス月給  
 ラ受ケ或受ケサル者ナリ  
 第四 掌管人ハ委任セラレ、事ノ  
 ミタケノ責ニ任シ其會社ノ

金花堂

義務ニ附テ一己ノ責或仲間  
 ノ代リノ責ニ其職務ノ故ヲ  
 以テ任ス可カラズ  
 第五 各加入人ノ受ク可キ損失ハ  
 惟己ノ加入セシ金高ノ分ニ  
 限ル可シ  
 第六 無名會社ノ元金ハ同高ノ  
 手形<sup>同高</sup>及手形<sup>分</sup>分ル  
 第七 右手形ハ持人へ拂フ可キ證  
 書ノ体裁ヲ以テ仕立テルヲ



得可シ

但右ノ場合ニ於テ其讓渡

シハ只證書即手形ノ手渡

シヲ以テ之ヲ爲ス事ナリ

弟八

手形ハ又所有人ノ名ヲ記シ

タル手形トモナル可シ其所

有ノ證據ハ會社ノ簿冊へ記

載スル事ヲ以ス

但此場合ニ於テ手形ノ讓

渡ハ簿冊へ書入レシ讓渡

金花堂

ノ陳告ヲ以テス但右陳告  
ハ讓渡人ノ書判或其名  
代ノ書判ヲ載セサルヲ得  
ス

弟九

無名會社ヲ建ルニハ皇帝ノ

免許及其取建ノ條約ノ爲メ

皇帝ノ承諾アラサルヲ得ス

右ノ承諾ハ政治ノ規則ノ爲

メ定ツタル格式ニ隨ツテ爲

サバルヲ得ス



第十 無名會社ハ只公書ヲ以テノ

ニ以テ取建ルヲ得ルナリ

第十一 政府ヨリ下セシ無名會社ノ

免許書ハ其結社ノ條約書ト

共ニ同期限間之ヲ貼附ス可



